



医療法人 社団 亮正会 総合高津中央病院
川崎市高津区溝口1-16-7 TEL 044-822-6121
<http://www.takatsuhosp.or.jp>

新 高津中央病院だより

(財)日本医療機能評価機構認定病院

2012年◆秋号(2012年11月発行)

Vol.39

季節の写真館 大陸天大銀杏
(高津区二子4-18-1 : まちの樹50選)



卷頭言



顔の見える 医療連携を目指して

総合相談センター長・副院長 小林 進

総合高津中央病院は今年で創設56年を迎えました。半世紀以上に亘って、この地 高津区溝口でこれまでやってこられたのも、地域の先生方のご支援があってのことと深く感謝しております。診療所の先生方にとっては、相談すれば「すぐに入院できる」または「診療が受けられる」ということが連携先病院の評価に繋がっていると思います。当病院は、総合デパートのように、全て品揃いができるわけではありませんが、それなりの人員・人材・診療科、設備を備えており、当病院の機動性を生かして皆様のご期待に少しでもお応えできるよう努力しております。当懇談会では、「顔の見える医療連携」をテーマに、診療科別のテーブルに加えて「医療連携課」のテーブルを置かせて頂きました。医療連携課では職員4名態勢で日々、受診や入院についての相談をお受けし、できる限りご期待に添えるよう努力しております。とは言っても、ご期待に添えない場合もあるかと思いますが、ベッド状況など日々変化しておりますので、まずはご相談を頂ければ幸いです。

さて、社会保障と税の一体改革の将来像で示されたとおり、超高齢化社会が加速度的に進む中で、医療から介護へ、病院から在宅へと、日常生活圏内で切れ目のない医療介護を提供する地域包括ケアを目指すためにも病診連携は今後ますます重要になります。

その意味からも、地域の中核病院として病診連携の拡張化を図るとともに懇談会で皆様から頂いた色々なご意見を参考に、総合高津中央病院の診療体制のさらなる効率化を図りたいと考えております。

総合高津中央病院 理念・基本方針

理念

医療を通じて地域社会に貢献します

基本方針

1. 地域の皆様に愛される病院、親切、迅速、奉仕について最善の努力をします
1. たゆみない研鑽と医道の高揚に努め、安全で質の高い開かれた医療の提供をめざします
1. 地域の救急医療に全力で対応します
1. 保健、福祉の全面的な支援を行います

ドクター紹介

新任です!! よろしくお願ひします!!!

名前 三好 史人

卒業大学 昭和大学

卒業年度 平成12年度

専門領域 循環器科、不整脈

資格等 内科認定医、循環器専門医、不整脈専門医

自己紹介 2012年8月より当院勤務となりました。患者様が安心して医療を受けられるよう努めたいと思います。



名前 後藤 美緒

卒業大学 弘前大学

卒業年度 平成17年度

専門領域 産婦人科一般、周産期

資格等 産婦人科専門医

自己紹介 2012年11月より勤務しております。地域の皆様に寄り添った医療を提供できるよう精進してまいります。



《川崎市保健衛生功労者表彰の受賞》 11月13日の第52回川崎市保健衛生功労者表彰で、

総合高津中央病院の「伊川淳栄 事務部次長」が受賞しました。個人の部で51名が表彰はされました、医療事務従事者ではただ一人の名誉ある受賞となりました。



“地域医療連携懇談会”開催される！

医療連携課 土谷 吐夢

去る、11月9日（金）ホテル・ケーエスピーで総合高津中央病院主催の「地域医療連携懇談会」が開催されました。懇談会は近隣地域の医院・クリニック、施設の先生方など39名の御来賓のもと、「講演会」と「懇談会」の二部構成で開催されました。

【第一部：講演会】

講演は、脳神経外科の御任医師による『認知症の画像診断－treatable dementiaとの鑑別』と外科の満山医師による『鏡視下結腸切除手術について』の2本立てで行われました。



第一幕の御任医師による「認知症の画像診断」は、認知症に関する基礎知識の確認に始まり、後半はVSRADによる画像診断方法や水頭症手術についての話題提供がありました。認知症の中には判別しにくい症状のものもあり、VSRADを活用することで早期発見、早期治療が可能となります。そこで、認知症診断については是非ご相談いただきたいと、最後は「御任に御任」のキャッチフレーズで締め括り、会場の笑いを誘いました。

第二幕の満山医師による「鏡視下結腸切除手術」では、術中の様子を撮影した動画をスクリーンに投影し、実際の様子を見ながら手術のポイントについて話を聞くことができましたが、鮮やかな手技に目を奪われアッという間に時間が経ってしまいました。最後に、現在当院では外科手術に積極的に取り組んでいることに触れ、紹介患者への迅速な対応に努めていることをアピールしました。

【第二部：懇談会】

懇談会は御来賓と当院の職員を合わせ79名での懇親

となりました。加藤理事長、山中病院長挨拶のあと、高津区医師会長の渡辺茂先生（渡辺クリニック院長）より御来賓の挨拶をいただき、宮前区医師会長の竹中希久夫先生（竹中医院院長）の乾杯の御発声で懇親が始まりました。テーブルは診療科ごと配置され、担当医と御来賓の方々との懇談が行われ、お食事とお酒が進むにつれて次第に賑やかになっていきました。懇談会が盛り上がるにつれ当院の医師と御来賓の先生方だけでなく来賓同士でも会話が弾み、医療連携そして旧交を温める場ともなりました。

会はつつがなく進行し、副院長の中村医師による謝辞を以って盛況の内に中締めが行われましたが、その後も所々でしばらく談笑が続き、今回の地域医療連携懇談会が有意義なものとなりました。



懇談会を通して、やはり「病診連携なくして地域医療の発展はなし」ということを強く感じました。今後も「医師同士の顔が見える連携」を継続し、さらに緊密にしていくためにも定期的に当懇談会を開催したいと考えております。

末筆になりましたが、御多用にも関わらずご出席いただきました御来賓の先生方には心より御礼申し上げます。今後とも「総合高津中央病院と医療連携課」をよろしくお願い致します。

高津中央インフォメーション

糖尿病教室開催のお知らせ

糖尿病教室開催チーム

平成24年度第3回の糖尿病教室が11月10日・17日・24日に開催されました。糖尿病の治療と合併症・最新情報をお届けすると共に、運動療法の実演などとても充実した内容になっていました。39名の方が参加してくださいました。

そして2月には、第4回糖尿病教室が2月2日・9日・16日・23日の4回シリーズで開催されます。今回の食事療法は「食事療法を美味しく！楽しく！」をテーマにワンコインランチ（食事会）を企画しています。ワンコインランチは会場・時間帯が違っていますのでご注意ください。（3号館3階講義室で12:30～）



血糖値の気になる方、療養中の方、是非一度教室へいらっしゃいませんか。私たち糖尿病教室開催チームがサポートいたします。

- ◎ 2月2日(土) 14:00～15:30
「糖尿病の診断と治療」
- ◎ 2月9日(土) 14:00～15:30
「検査について・日常生活について」
- ◎ 2月16日(土) 14:00～15:30
「お薬について・運動療法について」
- ◎ 2月23日(土) 12:30～13:30
「ワンコインランチ（食事会）」
(予約制・参加費500円)

高津看護専門学校「樹紅祭」に参加して！

庶務課 森田 勇二

去る、11月10日（土）高津看護学校で秋のイベント「第34回樹紅祭」が開催されました。樹紅祭は、日頃の勉強の成果発表や地域貢献の一つとして行われる文化祭であります。今年のテーマは「未来につながる食事と健康2012」で、午前中は外部講師（管理栄養士）による講演会と看護学生による研究発表が開催されました。

お昼からは「バザー」「喫茶・タカツ食堂」「お楽しみ（ゲーム・クイズ）」「ヘルスチェック」のコーナーがありました。バザーは学生・教員・高津中央病院からの持ち寄りで数多い品物が格安で販売され大盛況でした。喫茶・食堂では学生手作りの心がこもった暖かい食べ物などがあり、屋外では焼き鳥の露店がありました。どれもとても美味しかったです。お楽しみコーナーでは、子供たちの歓声があがり、ヘルスチェックでは穴澤校長が真剣に健康チェックを受けていました。

短い時間でしたが、樹紅祭に参加して心温まるふれあいができ、思い出に残る時間でした。来年も、また行きたいと思います。看護学生の皆さんありがとうございました。



ヘルスチェックコーナー



バザーコーナー



24年度「秋季総合防災訓練」を実施しました

今年も高津消防署などのご協力をいただき、秋季総合防災訓練を実施しました。

秋季訓練は『3.11東日本大震災』程度の大地震を想定し各種訓練を実施しました。

【9月1日（土）防災対策準備体制の一斉点検】

防災訓練のスタートとして、9月1日に各所属にて事前作成した「防災準備チェックリスト」にもとづいた一斉点検を行い、大地震に備えた防災準備体制をチェックしました。

【10月17日（水）入院患者避難誘導訓練】

『3.11東日本大震災』程度の大地震の発生を想定

した避難誘導訓練を高津消防署のご協力のもと実施しました。大地震発生直後の初期行動、防災対策本部の立ち上げ、

被害状況の報告、防災対策本部の指示に基づいた模擬患者の避難誘導（2号館1階、3階まで）など病院全体（参加者208名）で訓練を行いました。終了

後、高津消防署から訓練結果の講評をいただきました。また、今回の訓練結果を踏まえた『防災対策マニュアル』の見直しを検討しております。

今後とも病院あげて防災対策に取り組んで参ります。

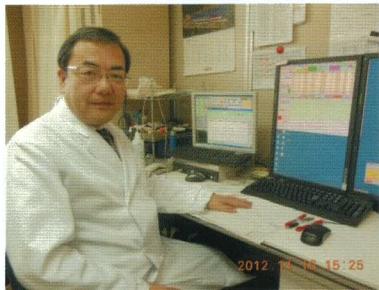


高津中央 トピックス

高津中央クリニック

信頼できる人間ドックを目指して！

高津中央クリニック 乗本 薫



高津中央クリニックは昭和62年の開設以来、地域の期待に応える十分なレベルの健康診断を行うことを目指し、人間ドック、生活習慣病健診、労働安全衛生法に基づく法令健診などの各種健康診断を行ってきました。健診のレベルを維持・向上させるため、日本人間ドック学会や日本総合健診医学会といった関係学会の求める健康診断の基準改定にも積極的に対応し、加えて健診のレベルアップを目的とした認定医・専門医制度、病院機能評価の健診版ともいえる健診施設機能評価にも早くから参加してきました。

そのような姿勢が認められ、平成17年2月、人間ドック・健診施設機能評価（Version 1）の認定を取得、その後1回の更新（Version 2）を経て現在に

至っております。また、平成21年10月、第1回の人間ドック専門医認定試験に本稿の筆者である乗本が合格し、平成22年1月1日付で人間ドック専門医（当時）を取得いたしました。また、平成22年4月1日付で日本人間ドック学会より当時の石川所長とともに私が指導医に委嘱され、当クリニックに対して研修施設の委嘱がありました。これにより、自施設で専門医の育成が可能となりました（ちなみに、一定のレベルを確保した人間ドック施設を紹介する目的で人間ドック学会による研修指定施設の一覧表が「週刊文春」平成24年11月8日号141頁～142頁に掲載され、その中に当クリニックも掲載されております）。

以上の事柄は、当クリニックの「奇をてらって特殊なことを行うのではなく、一般的なドックでありながら精度が高く、地域の受診者にとって信頼のおける人間ドック・健診を提供する」という考え方が認められたものと考えます。健康保険組合の財政悪化など、人間ドック・健診を取り巻く環境も変化しつつありますが、今後も努力を重ね、皆様の期待に応えられる高津中央クリニックでありたいと考えております。



個人情報 保護方針

情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。
総合高津中央病院では、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

① 個人情報の収集・利用・提供

個人情報の保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

② 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな対策を実施します。

③ 個人情報に関する法令・規範の遵守

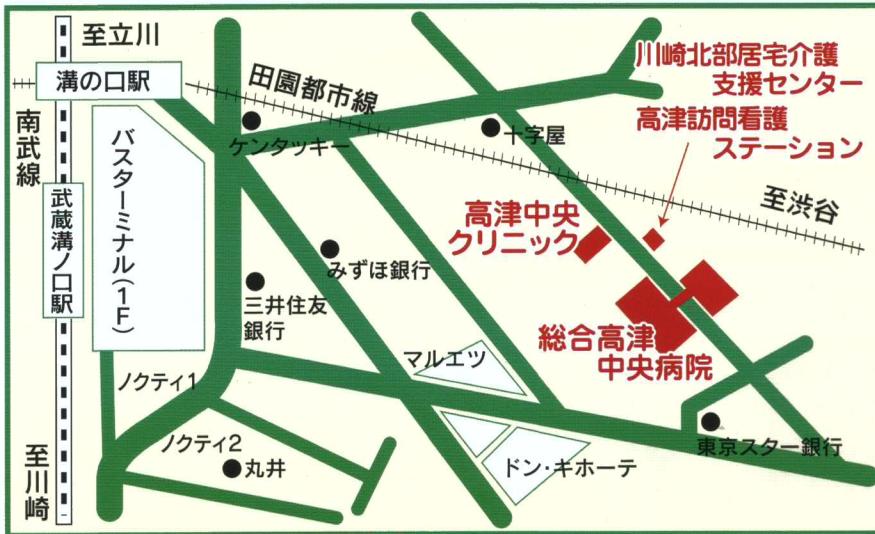
個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

④ 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

⑤ 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。



総合高津中央病院

川崎市高津区溝口1-16-7
TEL (044) 822-6121 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp>

高津中央クリニック (健診)

川崎市高津区溝口1-16-3
TEL (044) 822-1278 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp/clinic/>

川崎北部居宅介護支援センター

川崎市高津区溝口1-17-5
TEL (044) 822-6159 (代)

高津訪問看護ステーション

川崎市高津区溝口1-17-1
TEL (044) 822-1287 (代)